

農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書提出 議事概要

日 時 令和元年8月23日（金） 9：30～10：15

場 所 仙台市役所3階秘書課第1応接室

出席者 仙 台 市：市長、経済局長、農林部長、農林部参事、農政企画課長、農業振興課長、
農林土木課長、農地基盤整備担当課長（8名）

出席者 農業委員会：会長、会長職務代理者、第一調査委員会委員長・副委員長、
第二調査委員会委員長・副委員長、企画検討チーム長、事務局長（8名）



意見交換要旨

<佐々木 均 会長>

- ・仙台東地区ほ場整備事業に伴い、今年度から全域での作付開始となった。御礼申し上げる。
- ・東部地区は作土が津波で流された。営農するには地力が重要。ほ場整備により区画が大きくなったが、作土が均平でないところもあり、丁寧な作業を国に要望願いたい。
- ・面整備は概ね終わったが、補完工事が必要な箇所もある。令和2年度で国の仙台東土地改良建設事業所を閉鎖すると聞いているが、もう少し残って対応をお願いしたい気持ちもある。
- ・補完工事（暗きょ排水工事等）が完全に終わっておらず、840ha程度残っていると聞く。残った事業期間の中で、間違いなく事業完了できるよう、市から国へアプローチをお願いしたい。
- ・中間管理機構法が一部改正され、令和2年4月にはJA仙台の円滑化事業が終了する予定である。今後、新たな賃借や更新については、農業委員会か中間管理事業のどちらかの利用になるが、担い手への集約という観点で、条件が整っている農地は中間管理事業にまとめていきたいので、市でもそのように誘導して欲しい。
- ・担い手がいないと中間管理事業も活用できない。中間管理事業への移行がスムーズにいくよう、市でも地元で丁寧な説明や対応をお願いしたい。

<結城 一吉 第一調査委員会委員長>

- ・大倉地区の中間管理事業を利用したほ場整備が決まっている。
- ・大倉地区は中山間地であり、区画が小さい等ほ場条件が悪く、耕作意欲が失われている。今回活用する事業は農家の負担がなくほ場整備が出来るため、大変ありがたい事業であり、積極的に活用したいが、順番待ちになっているため国の予算獲得をお願いしたい。
- ・大倉地区では10年前から市民農園を実施している。地域交流の場となる農地の利用の仕方も大事だと考えており、今後も継続していきたいので、宜しくお願いしたい。

<嶺岸 若夫 第二調査委員会委員長>

- ・西部地域は、農業者の高齢化に伴い、担い手不足の課題が顕著。担い手がいても、区画が不整形な農地もあり、担い手が営農し難いところも多く、耕作放棄地増加の懸念がある。
- ・草木が生い茂る耕作放棄地は、病虫害の発生原因や鳥獣の住処になる可能性もある。
- ・農地は作物の栽培だけでなく、自然環境や景観の保全等多面的な機能を有し重要。これらを維持するため、地域活動で行う草刈りや堀払いに活用出来る多面的機能支払交付金は有用である。
- ・しかし、同交付金対象農地は「農振農用地区域」に限定されている。広く活用できるよう「農振農用地区域」以外にも、対象農地の拡大を国に要望してほしい。それが難しい時は、市で対策を講じられないか検討してほしい。

<菅野 則義 第二調査委員会副委員長>

- ・親元就農は就農のハードルが低く、今後の担い手として期待できるため、支援をお願いしたい。
- ・新規就農について、営農スキルも乏しいため、比較的栽培しやすい野菜等を紹介する等、新規就農者向けの支援も必要。営農により、収入に結び付けていくことが求められる。
- ・市長から農食ビジネスの話もあったが、市では雪菜を使ったあおば餃子や今朝採り枝豆、ずんだの商品化の施策を推進している。雪菜や枝豆等は比較的栽培しやすい野菜のため、新規就農者に広め、それを加工し6次化を図る考え方もある。
- ・新規就農者や新しい担い手について、経営が安定するまで、収入を得られるよう支援をお願いしたい。

<赤間 敬 第一調査委員会副委員長>

- ・親元就農者といいつつも、一昔前と異なり同世代の農業者の数が少ない。地域の同世代農業者間で孤独にならないよう、支援いただきたい。

<中野 勲 会長職務代理者>

- ・先日、秋保地区で蕎麦の播種作業を行ったが、鳥獣被害が課題となっている。
- ・ワイヤーメッシュを道路側に設置しているが、それでも掻い潜りイノシシ等が進入してくる。野尻地区では準備したワイヤーメッシュがなくなってしまったため、馬場地区からワイヤーメッシュを譲り受け、補修しているところ。
- ・4mmのワイヤーメッシュが全国的に使用されているが、5mmのものを当初から設置していれば、より一層鳥獣対策の効果があるのではと考えており、今後新たに整備するものについては、その

規格で設置を要望したい。

- ・穴をふさいでも、すぐ隣に穴をあけ進入してくるように、いたちごっこの所はあるが、全域をカバーするよう取り組んでいきたい。
- ・捕獲用エサの助成についても、様々な機会で議員や関係部局にお願いしているところ。市だけでの支援は難しいと思うので、国等にも働きかけの上、検討願いたい。

<松原 菊男 企画検討チーム長>

- ・道路の法面等、公共用地の草が伸びており、そこが病虫害の発生源となっている。草丈があると、ごみ等のポイ捨てもしやすいようだ。
- ・隣接する農地にも悪影響となるため、農地に隣接する公共用地の草刈り等をお願いしたい。

<佐々木 均 会長>

- ・仙台東地区について、ほ場整備の最後に換地手続きが必要。現在は仮換地状態であるため、この手続きも円滑に終了するよう支援をお願いしたい。
- ・公共用地の草刈りについて、昔は農業者が農地に面した道路等も草刈をしていたが、この時代、中々対応出来ないところもある。地域市民からの要望というところもあるので、是非対応について検討願いたい。

<菅野 則義 第二調査委員会副委員長>

- ・道路の街路樹にアメリカシロヒトリ（蛾）が大量に発生し、それが農地にも派生してしまう。街路樹を植えるのはいいが、その適切な管理をお願いしたい。
- ・昔は年数回実施していた道路街路樹の剪定も、最近は年1回程度しか行われていないようだ。財源の問題もあると思うが、対応について検討願いたい。